

**上ノ国町長選挙
工藤昇氏が無投票で再選**



再選した工藤昇氏

任期満了に伴う上ノ国町長選挙が5月18日に告示され、現職の工藤昇氏（56歳）のほか届け出がなく、無投票で再選されました。

工藤氏は、平成14年の町長選挙で初当選し、現在2期目。平成18年に引き続き無投票で再選されました。

なお、当選証書付与式が5月24日に役場で行われ、奥野良廣選挙管理委員会委員長より工藤氏に当選証書が付与されました。



当選証書付与式の様子

**木を植えて環境を守れ
檜山の森づくり植樹祭開催**



ヒノキアスナロ約500本を参加者で手際よく植樹

檜山の森づくり植樹祭が5月15日、小森地区で行われ、湯ノ岱小学校児童や農林水産業従事者、建設業従事者など町内外から約250人が参加しました。

この植樹祭は、平成10年から檜山地域各町の持ち回りで毎年開催されており、上ノ国町では今回で2回目。この日の植樹は、先日、北海道指導林家に認定された久末善輝さんの指導のもと行われ、参加者は50名ほどのヒノキアスナロ（ヒバ）の苗木約500本を一本一本丁寧に植樹しました。

また、この植樹の終了後は、石崎川へ移動し、15名ほどのサクラマスの子魚3000匹を放流しました。



15名ほどのサクラマスの幼魚を放流

**久末善輝さんが
「北海道指導林家」に認定**

模範となる林業生産活動と施業技術などを有する方を林業普及指導者として、北海道知事が認定する「北海道指導林家」に、この度、久末善輝さん（字中須田）が認定されました。

このたび認定された久末さんは、父親がスギ人工林造成などを行っており、子供の頃から山仕事を手伝うなどして、森林整備の必要性や技術を身に付けたほか、意欲的に森林づくりに励む姿が地域の模範となっていることが評価されました。



認定された久末さん（写真中央）

**きれいな花を見て楽しんで
ツツジ10本が植樹される**



ボランティアの方々による植樹

道の駅「上ノ国もんじゅ」を訪れる観光客を花で楽しませたいと、5月14日、もんじゅ前の花壇にムラサキツツジ10本が植えられました。

このムラサキツツジは、上ノ国町出身で千葉県在住の柴崎貴子さんから寄附されたもので当日はボランティアの方々、添え木をつけて植栽。最後に「来年も元気に花を咲かせてね」と気持ちを含めながら水をやり、後は、「花壇の手入れをはじめ、訪れる人たちの目を楽しませればうれしい」と話していました。



多くの人にきれいなツツジを見てもらいたい